

Web Usability & Accessibility

③ 「IPAセキュリティセンター」サイト (情報処理振興事業協会)

http://www.ipa.go.jp/security/

セキュリティへの意識を高める意味で ユーザーに理解できる情報提供を

ネットワークの脆弱性をついた、コンピュータウイルスがこの夏流行した。ひと昔前に比べてユーザーの防衛意識も向上したとはいえ、拡散規模、速さを考えると発生時の正確な情報告知が重要になってくる。情報処理振興事業協会 (IPA) の附属機関として、セキュリティ対策、被害調査を行う「IPAセキュリティセンター」のユーザビリティ&アクセシビリティを濱田・石田両氏が検査した。

Usability (解説/石田直子)

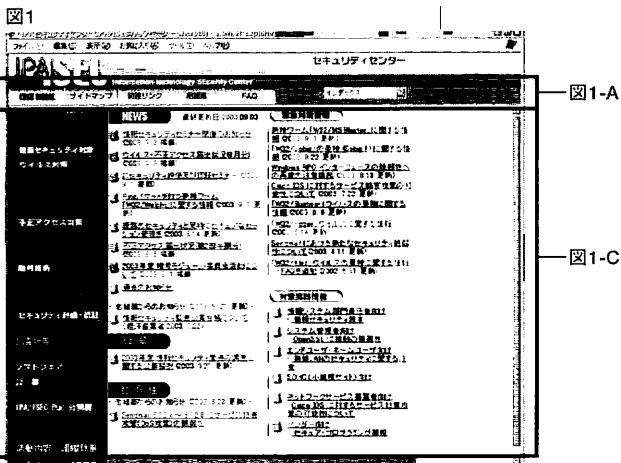
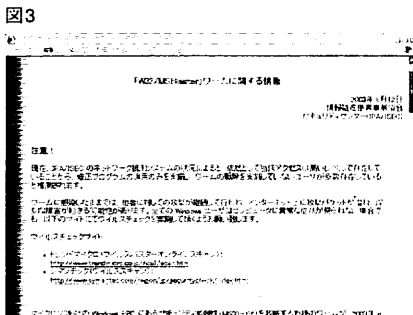
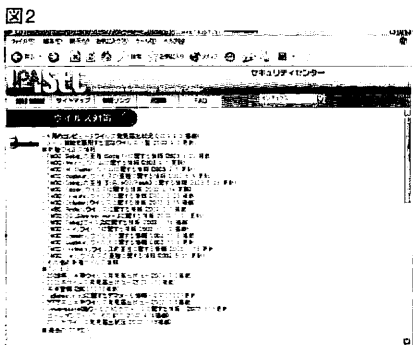


図1-B



セキュリティは、いまやパソコンユーザーにとつての常識です。しかし、普通にパソコンを使っているだけでは、OSのパッチを当てたり、最新ウイルス情報をこまめにチェックするといった対策は、自動更新メッセージが出てきたとしてもつい後回しにしがちです(自戒を込めてそう思います)。「楽

しく毎日ウイルス対策」とはいいませんが、セキュリティについての意識を高める意味でも、今回チェックするセキュリティセンターは使いやすい、苦にならないサイトであってほしいと思います。

【情報の追求か、ユーザビリティか】

ウイルスに関する情報は迅速性が求められます。しかし、迅速性を優先させるために、ユーザビリティの面をおろそかにしてしまうと、必要な情報が必要な

人に届かなくなることを忘れないください。

このサイトでは、画像は図表などでは使われていませんが、基本的にテキストベースでシンプルに作られています。テキストでシンプルなテンプレートを作っておけば、迅速な情報提供が、必要な際に素早くアップデートすることができます。

ただしシンプルなだけで、画面にメリハリがないと、ページのどこにどのような情報があるのか、自分に必要な情報はどこかわかりません。図2のウイルス対策のページは、リンク項目とこれをまとめるカテゴリの見出しが同じサイズのため、文字がたくさん並んで見にくい印象を与えます。

【ナビゲーションの親子関係】

このトップページは、大きく分けて図1のA、B、Cの3要素に分かれます。このような画面の切り方の場合、ヘッダ+グローバルナビゲーション部分(図1-A)、サブナビゲーション部分(図1-B)、コンテンツ部分(図1-C)になるのが一般的です。このうちAとBはそれぞれメニューの役割を持っています。通常Aはサイト全体の大項目メニューを示し、Bはその中の小項目を分類したメニュー、CはBのそれぞれの内容を表示するエリアになります。

ここでは想定したようなA→B→Cというコンテンツの親子関係は存在していないようです。例えばCに細かなカテゴリが並び、これがB、またはAのどこに分類されるのかわかりません。さらにAはBの上位項目であるはずですが、Bの項目を包含できるメニューはサイトマップだけのようです(サイトマップは準備中)。プルダウンでナビゲーションは可能になってはいますが、ではなぜサブナビ

ゲーションがあるのでしょうか?

また残念なことに、こうしたナビゲーションデザインが階層を進んだページでは継承されていません(図2、3)。

【ウイルス対策における専門用語の可否】

ウイルス情報のページを一見して感じたのは、専門用語の多さと硬い文章、それに文章量の多さです。

一例として、図3の「[W32/MSBlaster]ワームに関する情報」の一部を抜粋します。

現在、IPA/ISECのネットワーク観測システムの状況によると、依然として当該アクセスは高いレベルで存在していることから、修正プログラムの適用のみを実施し、ワームの駆除を実施していないユーザーが多数存在していると推測されます。

上記でわからないことはないのですが、お役所的な言葉遣いと感じられないでしょうか。ウイルス対策のためにこのサイトを見に来る人たちは、一刻も早く対処法を知りたいと思っているはず。事実を正確に伝えることも重要ですが、同時に利用者が対処法を間違いなく入手し、理解するための配慮も必要です。

----- 評価 -----

サイトの目的が伝わること ★★★
何がそのサイトの狙いなのかをトップページで表現します。

学習しやすさ ★
すぐそれを使い始められるように、全体像と次に何をすべきかを伝えています。

効率性 ★
デザインや構成が統一されていると作業の効率性が上がります。

記憶しやすさ ★★
上記と同じく、デザインや構成が統一されていると記憶しやすくなります。

エラーを少なく ★★
エラーはないほうがよいのですが、避けられないものでもあります。回復方法が明確になるように。

満足を与える ★★★
ユーザーにとって楽しかったり、有益であったりというメリットが必要です。

総合評価 ★★

正しい情報提供と同時に、わかりやすい情報提供の面で配慮がなければ、せっかくの情報が使えないものになってしまいます。



アクセシビリティ分析担当
濱田英雄
(株)ユーディット 主任研究員
hamada@udit-jp.com



ユーザビリティ分析担当
石田直子
(株)ユーディット 研究員
naoko@udit-jp.com

(株)ユーディット

URL <http://www.udit-jp.com>
「情報のユニバーサルデザイン」を目指し、アクセシブルなWebの制作やコンサルティング、高齢者や障害者も利用できるユニバーサルデザインの情報環境、製品の調査などを行っている。

Accessibility (解説/濱田英雄)

今回の対象とした「IPAセキュリティセンター」のページには、セキュリティに関する重要な情報があるだけに、より多くのユーザーに理解できるように、アクセシビリティに対する配慮も必要だと思われます。

【リンク画像のALT属性】(図4)

図4



フレームを使ったトップにある、この5つのナビゲーションリンクはイメージマップで作られていますが、ALT属性そのものがないため、リンク先のファイル名が読まれています。1番目の「HOME」と4番目の「用語集」にはALT属性があるのですが、なぜか「alt=""」とカラになっています。文字がないため、音声ブラウザでは何も読まれず、リンクとして認識できなくなっています。リンク画像には必ずリンク先があるので、イメージマップを含めて、ALT属性にはリンク先をテキストで入れる必要があります。

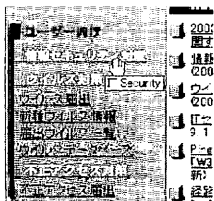
【リンク画像のALT属性】(図5)

このページ左にあるメニュー画像のALT属性には英語が入っています。英語版のページは別にあるので、なぜここに英語のALT属性を入れたのか、理解に苦しみます。音声ブラウザを使って情報を得ている人にも、晴眼者と同じ情報が伝わるように日本語にしたほうが良いでしょう。

【背景色と文字の配色】(図5)

この目次の部分は背景色がブルーになっています。画像の文字は白くて読みやすくて、一部の画像文字とテキストリンクがブルーなのでかなり見にくくなっています。ブルーのテキストリンクは初期値なので、他の部分を考えれば変更しにくいと思います。ですから、いっそのこと全部画像処理して、白文字に統一したほうが見やすいでしょう。

図5



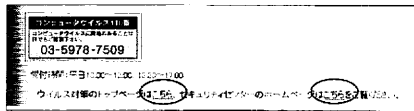
【リンク画像のALT属性】(図6)

このページには、相談窓口として「コンピュータウイルス110番」の表記がありますが、画像にALT属性がついていないので、音声ブラウザ利用者はこの番号を知ることができません。このような重要な情報には、必ずALT属性をつけておきましょう。

【テキストリンクの言葉】(図6)

丸印で囲まれているテキストのリンク文字が「こちら」となっています。音声ブラウザにはリンクだけをリストにして読み上げるモードがあります。しかし、このようなリンク文字の指定だと、「こちら、こちら」と読み上げるようになって、どこにリンクしているのかわからなくなります。リンクされる文字はリンク先が理解できるような文章にする必要があります。

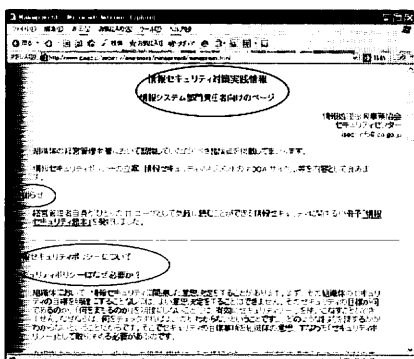
図6



【タイトル要素の使用】(図7)

このページでは、例えば見出しを「(font size="4")情報セキュリティ対策実践情報」と言う形で作っています。これでは見た目を大文字や太字にしても、音声ブラウザでは同じに聞こえてしまいます。見出しは、見出し要素(H?)を使って表示すると、音声ブラウザは見出しとして認識して、チャイム音と読み上げスピードを遅くすることで利用者に知らせてくれます。

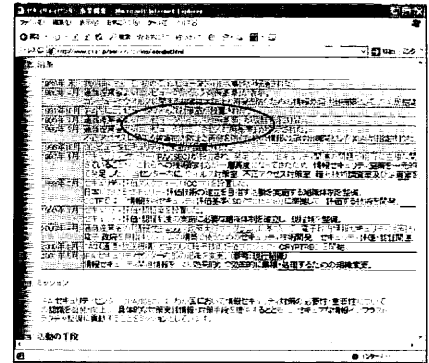
図7



【背景色と文字色の配色】(図8)

セキュリティセンター事業概要の沿革の表は、背景の一部がグレーになっているため、とくにリンクの箇所は見にくい。背景は同系色にせず、認識しやすい配色にする必要があります。

図8



----- 評価 -----

画像にはALT属性をつけること ★★
ALT属性がないところがあります。

リンクボタンになっている画像のすべてにALT属性を使ってリンク先を明確にすること ★
重要なものにALT属性が入っていないものがあります。

日本語のページでは外国語の乱用はせず、誰にでもわかるように配慮すること ★★
内容的にしかたがないところもありますが、英語や難しい漢字も多いように感じます。

色によって伝えられる情報は、色がなくても伝わるようにすること ★★★
一部強調するために色を使っているところがありますが、それ程問題は無いでしょう。

HEADにつける<TITLE>は内容がわかるように適切なタイトルをつけること ★★★
フレームで見えにくいのですが、同じ<title>が使われているところがあります。

レイアウトのテーブルは、情報が適切に音声ブラウザで読み上げられること ★★★

文章が多いので、概ね読み上げられると思います。

総合評価 ★★★

扱っている情報は重要なので、より高いアクセシビリティを期待します。